

第 52 回（令和 6 年度）市政アンケート調査結果の概要

本市では、市が行うさまざまな施策に対する「満足度」「期待」や、日頃の生活と市政などへの市民の意識や意見を調査し、その結果を市政に反映させることを目的として、市政アンケートを毎年実施しています。

本年度も以下のとおり調査を実施し、このほど結果がまとまりましたので、内容をお知らせします。

1. 実施概要

実施期間	令和6年8月12日～8月31日
実施対象	18歳以上の市民から無作為に選んだ5,000人
調査項目	【問1】市政全般への満足度・期待について（全27項目） 【問2～4】日ごろの生活と市政について 【問5～6】市の広報活動について 【問7～9】各種スポーツイベントについて 【問10～11】市議会について 【問12】自由回答欄

2. 調査結果（有効回答者数 1,794 人・有効回答率 35.9%）

【満足度】全 27 項目の平均値は 5 段階評価中 2.93（前回は 3.04）

◆満足度が高い施策

1 位(↑)	(前回 2 位)	市民を守る消防救急体制の確立……………	3.31(↓)	(前回 3.42)
2 位(↑)	(前回 3 位)	ひと・まち・みずが共生する都市基盤づくり……………	3.19(↓)	(前回 3.41)
3 位(↑)	(前回 16 位)	豊かな環境の保全と継承……………	3.10(↑)	(前回 3.06)
4 位(↑)	(前回 13 位)	スポーツを通じた活気あるまちづくりの推進……………	3.09(↓)	(前回 3.11)
5 位(↑)	(前回 9 位)	緑豊かな住空間の形成……………	3.04(↓)	(前回 3.12)

◆満足度が低い施策

27 位(↓)	(前回 11 位)	にぎわいの創出と買い物拠点の再生……………	2.68(↓)	(前回 3.11)
26 位(↑)	(前回 38 位)	次世代モビリティ・システムの構築を通じた新たなネットワークづくり…	2.73(↓)	(前回 2.80)
25 位(↓)	(前回 20 位)	農林水産業の活性化……………	2.74(↓)	(前回 3.03)
24 位(↓)	(前回 5 位)	交流を生み出す新たな四日市流都市型観光……………	2.75(↓)	(前回 3.20)
23 位(↑)	(前回 40 位)	暮らしの空間の高質化……………	2.81(↑)	(前回 2.72)

◆期待が高い施策

1 位(↑)	(前回 6 位)	子どもと子育てにやさしいまちに向けた環境整備……………	20.8%(↑)	(前回 18.3%)
2 位(↑)	(前回 3 位)	質の高い医療を安定的に提供する体制整備……………	19.7%(↓)	(前回 21.4%)
3 位(↑)	(前回 11 位)	地域の防災力を高めるまちづくり……………	18.8%(↑)	(前回 14.6%)
4 位(↓)	(前回 1 位)	にぎわいの創出と買い物拠点の再生……………	18.4%(↓)	(前回 22.5%)
5 位(↓)	(前回 3 位)	住み慣れた場所で自分らしく暮らせる環境づくり……………	17.3%(↓)	(前回 21.4%)

【市民から特に求められている施策】

満足度が低く期待が高い項目は、「市民から特に求められている施策」と捉えることができます。満足度が平均未満かつ期待が平均以上の項目を抽出しました。（順不同）

【市民から特に求められている施策（6項目）】

- 新産業の創出と既存産業の活性化
- 農林水産業の活性化
- 次世代モビリティ・システムの構築を通じた新たなネットワークづくり
- にぎわいの創出と買い物拠点の再生
- 高齢化社会に対応した生活環境の確保
- 住み慣れた場所で自分らしく暮らせる環境づくり

【満足度・期待に関する特記事項】

- ・ 満足度について、昨年度実施した前回調査と比較すると全 27 項目の平均値は 3.04 から 2.93 に下降した。個別の項目でみると、満足度が上昇した項目は 4 項目で、前回と同率が 1 項目となっている。他の 20 項目は減少となっている。また今回から新たに 2 項目が追加となっている。
- ・ 満足度が最も上昇したのは「暮らしの空間の高質化」(2.72→2.81) であり、一方、満足度が最も低下したのは「交流を生み出す新たな四日市流都市型観光」(3.20→2.75) であった。
- ・ 年齢層による満足度の差が大きい項目は、「質の高い医療を安定的に提供する体制整備」(最大 4.00 (20 歳未満)、最小 2.86 (40 歳代および 60 歳代)、差 1.14)、「にぎわいの創出と買い物拠点の再生」(最大 3.55 (20 歳未満)、最小 2.54 (60 歳代)、差 1.01)、「農林水産業の活性化」(最大 3.39 (20 歳未満)、最小 2.57 (60 歳代)、差 0.82) などとなっている。
- ・ 期待が大きく上昇したのは「夢と志を持ったよっかいちの子どもの育成」(6.8%→15.6%)、「新産業の創出と既存産業の活性化」(10.1%→15.8%)、「文化・芸術の振興」(6.6%→12.0%) であった。
- ・ 年齢層による期待の差が大きい項目は、「子どもと子育てにやさしいまちに向けた環境整備」(最大 41.2% (20 歳代)、最小 6.3% (70 歳以上)、差 34.9)、「地域の防災力を高めるまちづくり」(最大 32.5% (20 歳代)、最小 7.5% (70 歳以上)、差 25.0)、「にぎわいの創出と買い物拠点の再生」(最大 29.4% (50 歳代)、最小 6.3% (70 歳以上)、差 23.1) などとなっている。

【一問一答設問における特記事項】

- ・ 市民の意見が市政に『反映している』と答えた人の割合は 22.2%で前回調査に比べ減少しており、一方『反映していない』と答えた人の割合は 24.0%で増加している。
- ・ 市職員の仕事ぶり等について『信頼できる』と答えた人の割合は63.7%で、前回調査に比べ0.3ポイント減少している。一方、『信頼できない』と答えた人の割合は 0.4ポイント減少している。
- ・ 「四日市市居住に対する総合的な満足度」については、『満足』が 42.2%であり、4割程度の市民が本市での居住に対して総合的に満足している。また、「ふつう」が 44.8%であり、『満足』と合わせた 87.0%の市民は総合的にみて不満を感じていない。
- ・ 四日市市に関する情報を見たり聞いたりする機会として最も多いのは「広報よっかいち（全戸配布される広報紙）」で 87.0%、次いで「新聞記事」32.9%、「市のホームページ」16.4%、「CTY ケーブルニュース内の『市政コーナー』」12.0%の順になっている。
- ・ この1年間の運動・スポーツの実施頻度については、「この1年間、運動・スポーツをしていない」が 43.4%と最も高く、次いで「週に1回以上」が 28.9%、「月に数回～年に数回」が 26.0%となっている。
- ・ スポーツイベントに、どのような種目があれば参加してみたいかについては、「普段運動をしていない人でも気軽に参加できるもの」が 70.8%と最も高く、次いで「親子で一緒に参加できるもの」が 12.7%、「サークル等のグループで参加できるもの」が 7.0%となっている。
- ・ 各種スポーツイベントへの参加・不参加に関わらず、会場内においてどのような催しがあれば現地を訪れたいと思うかについては、「地元グルメの出店」が 48.2%と最も高く、次いで「地場産品の出店」が 39.1%、「バザー・マルシェ」が 33.7%となっている。
- ・ 「市議会だより」や「インターネット」等でお伝えしている市議会の活動内容について、わかりやすいと「思う」と答えた人の割合は 36.0%、「思わない」と答えた人の割合は 46.1%となっている。